



私ときもの

KIMONO & I

大切な『宝もの』となっています。

(私が勝手に思つてゐるのですが)』を戴いたこのきものは、

拝聴した後に選んだ紅型小紋でした。

歩を進めて行かれました。これは草月会館で『平良敏子先生』の講演を

「じきのねのお母さん『協会長(初代)院長』」

「あらつ、素敵な紅型着てるわね」の声。

正しいことを教へられました。長治の仕事を「するよりはたって」数々のきものとの出会いがありました。一番強く印象に残つてゐるのは十五年くらい前の学院祭での出来事です。生徒さんときもの選びをして、うなとき、「背後から

ときは必ず上のものを除けてからよ 引き強り出してはいけませんよ】

それは、母の箪笥の中からきものを出して羽織つてみる事！スリルもあり、とても幸せでした。しかしある時、帰宅した母に「下の方のきものを出す

ひとりで留守番をする時、密かに楽しみにしている事がありました。

当然のように子供の頃からきものが大好きでした。
きものからたくさんの事を学び」とか出来ました。

私ときもの

KIMONO & I

私ときもの

での出来事です。生徒さんとおもの選びをして、いつも、「あひの、繕敝な江里着して

印象に残っているのは十五年くらい前の学院祭

ました。長沼の仕事をするようになつて、数々の
きものとの出会いがありましたが、一番強く

に驚き、そして叱りずに正しいことを教えられ

「下の方のものを出すときは、必ず上のものを除けてからよ、引っ張り出してはいけませんよ」

きものを出して羽織ってみたところもあり
とても幸せでした。しかしある時、帰宅した母に

ひとりで留守番をする時、密かに楽しみにして
いる事がありました。それは、母の箪笥の中から

事を学ぶことが出来ました。

育つた私は、当然のよう^に子供の頃からきものが大好きでした。きものからたくさんのか